



卒業式・修了式(奈良女子大学メールマガジン今週配信予定分より)

本年も学内の皆様には大変お世話になりました。ひとつ、ひとつ、1年、1年の積み上げで、自治体、企業や金融関係、地域の方々からも「ちょっと近くまで来たから」と気軽に立ち寄ってもらえるようになりました。

1. 「研究紹介集2009-2010」発刊

7冊めになります本年度の「奈良女子大学研究紹介集・シーズ集」の印刷（製本）があがってきました。毎年、年度末での刊行を行っていますので、年末に作業のご依頼をせねばなりません、皆様のご協力に心より御礼申し上げます。差し替え原稿の電子データが添付されたメールの末尾に「毎年お世話様です」と書いていただいていますと心が熱くなります。

冊子については、産学官連携推進部門（上記メールアドレス、もしくは内線3734）にご連絡いただけますとご指定の冊数をお渡しさせていただきますので、必要に応じよろしくお願ひします。

2. 「第9回ハイ・サービス日本300選」受賞

経済産業省の委託事業としてサービス産業生産性協議会（財団法人日本生産性本部）が行う「ハイ・サービス日本300選」に奈良県としても国立大学法人としても初めて選出されました。「ハイ・サービス日本300選」とは各関係機関、オブザーバー省庁などからの推薦に基づき、産業界や大学関係者からなる選定委員会が、生産性向上に資する先進的な取り組みを行う企業・団体を優良事例を広く普及・共有することを目的として表彰・公開してきた事業です。おおむね3年間で300事例を選出するとし、これまでに218の企業・団体が認定されています。

今回の受賞では、歴史的市街地に立地する大学を地域社会変革の拠点にと、学生を主体とする奈良の文化・伝統食材の配信プロジェクトを推進するとともに、数々の奈良らしい商品を地域や企業と創出し、学生の実践的な育成とともに地域や産業の活性化につなげていることが評価されています。

本学をご推薦いただいた近畿経済産業局様には、重定副学長とともに産学官連携推進室の方向を模索していた時期からお世話になっています。地道ですが丁寧な、地域密着型の取り組みを大学全体として行ってきたことについて取り上げてくださったことに感慨を覚えました。



「ハイ・サービス日本300選」第9回受賞企業・団
サービス産業生産性協議会
2010年3月16日



赤坂ANAインターコンチネンタルホテルで行われた表彰式
(写真は大学院人間文化研究科 准教授中山徹)



現代GPや理学部生物科学科のとirikumi



「奈良らしい商品」の創出にかかわってきました(写真中央は食品関係、写真右は発売元で常に品薄状態が続く『奈良かるた(遊中川)』: 監修 文学部准教授寺岡伸信)。



3. 「第2回けいはんな研究シーズ紹介セミナー」(奈良県文化会館 1/13)

財団法人関西文化学術研究都市推進機構が奈良県と共催でけいはんな研究シーズ紹介セミナーを行っておられますが、第2回分として、基調講演および大学シーズ紹介(社会連携センター特任准教授藤野千代)、シーズ紹介(理学部化学科准教授浦康之)が参加いたしました。

基調講演「奈良八重桜ブランドの創出」

シーズ紹介「アルケンを自在につなぐ環境低負荷型有機合成反応」

80名ほどの方(自治体関係者、奈良県下企業、関西文化学術研究都市推進機構他)にご参集いただきました。

【プログラム】	
13:10-13:20	開会挨拶 幹事法人 関西文化学術研究都市推進機構 理事 新産業創出交流センター長 二宮 清 氏
13:20-14:00	基調講演 「奈良の八重桜ブランドの創出」 奈良大学法人 奈良女子大学 社会連携センター 特任准教授(理学博士) 藤野 千代 氏
14:00-15:10	講演とシーズ紹介【奈良女子大学】 講演テーマ:「アルケンを自在につなぐ環境低負荷型有機合成反応」 奈良大学法人 奈良女子大学 理学部 化学科 基幹化学講座 准教授(理学博士) 浦 康之 氏
15:10-15:30	休息(パンフレット交流会など)
15:30-16:40	講演とシーズ紹介【奈良先端科学技術大学院大学】 講演テーマ:「野菜、くだもの、漢方薬、元氣丸ごとデータベース、生から加工品まで!」 奈良大学法人 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 比較ゲノム分野 教授(工学博士) 金谷 重彦 氏
16:40-17:20	特別講演「展示会・プレゼン会で表現するテクニック」 奈良県 商工労働部産業支援課 近畿支部 プロジェクトマネージャー 島瀬 浩伸 氏
17:20-17:30	閉会挨拶 奈良県 商工労働部産業支援課 課長 上山 幸寛 氏

4. 「一日中小企業庁in奈良」(奈良県新公会堂 1/15)

「一日中小企業庁」とは、中小企業庁の幹部など中小企業施策の責任者が各地を訪問して最新の施策を説明し、意見交換や交流の場を設けて、今後の中小企業施策をより良いものにしていこうというイベントです。日本全国では5月に実施予定の三重県が最終で、その1つ前での開催となりました。



高橋千秋経済産業大臣政務官は、荒井正吾知事と参議院議員時代に同期ということで終始なごやかな雰囲気で行われ、本学は奈良県とともに進めている「奈良八重桜ブランド化プロジェクト」について展示しました。

5. 各種公募情報

ここでは研究助成公募を載せています。
各種表彰などについては下記URLをご参照ください。
<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/josei/koubo.html>
また本学に募集のあった共同研究の公募については
<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/josei/kyoudou.html>
をご参照ください。

公募情報についてはリアルタイムに
下記WEBにて随時公開中です。
<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/kakenjosei.html>

(財)社会安全研究財団 2010年度研究助成

【公募時期】平成22年3月20日～4月20日（期間内必着）

【助成対象】社会安全問題

A:一般研究助成 B:若手研究助成

【助成金額】 A:上限300万円 B:上限100万円 3/20～4/20（期間内必着）

【応募対象】 B:満35歳以下(2010/4/1現在)の若手研究者(大学院在籍者可) 運営管理経費は助成対象外

【問い合わせ】 <http://www.syaanken.or.jp/>

(財)国土地理協会 平成22年度学術研究助成

【公募時期】平成22年4月1日～4月23日（期間内必着）

【助成対象】地理学および関連する分野

【助成金額】上限100万円

【応募対象】大学院博士後期課程修了、もしくは同等以上の能力と研究経験を有していること
大学院生応募可(指導教員が代表者となる)

【問い合わせ】 <http://www.kokudo.or.jp/>

(財)クリタ水・環境科学振興財団 平成22年度研究助成

【公募時期】平成22年4月1日～5月20日 23:59（期間内必着）

【助成対象】水・環境分野(萌芽的研究・一般研究)

A:自然科学分野 B:社会・人文科学分野

【助成金額】 A:上限150万円 B:上限70万円

【応募対象】Eメールで申請のこと

萌芽的研究:原則35歳以下 一般研究:原則45歳以下

【問い合わせ】 <http://www.kwef.or.jp/>

(財)ダム水源地環境整備センター 平成22年度WEC応用生態研究助成

【公募時期】平成22年4月5日（消印有効）

【助成対象】既設のダム貯水池に係わる生態環境(上下流・周辺を含む)に関する研究

【助成金額】単年度:100万円以内 2カ年度:総額150万円以内

【問い合わせ】 <http://www.wec.or.jp/center/index.html>

(財)村田学術振興財団 第26回(平成22年度)研究助成候補者推薦

【学内締切】平成22年4月8日

【助成対象】自然科学:エレクトロニクスを中心とする研究

人文・社会科学:国際化にともなう法律、経済、社会、文化等の諸問題に関する研究

A:研究助成 B:研究会助成

【助成金額】 A:50～300万円 B:20～100万円

【問い合わせ】 <http://www.murata.co.jp/zaidan/index.html>

(財)日本生命財団 平成22年度環境問題研究助成

【公募時期】平成22年4月12日（消印有効）

【助成対象】人間活動と環境保全との調和に関する研究

A:学際的総合研究 B:個別研究 「人間性豊かな生活環境の確立」に役立つ着想豊かな研究
C:若手研究

【助成金額】 A:1～2千万円/件 B:200万円程度 C:上限100万円

【応募対象】 C:37歳未満(S48/4/2以降生まれ)

学生、院生は応募不可 一般管理費は計上不可

【問い合わせ】 <http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/>

(独) 科学技術振興機構 地域の科学舎推進事業平成22年度「地域ネットワーク支援」募集

【学内締切】平成22年4月12日

【助成対象】自治体、大学等を中核として、様々な活動主体が相互に連携し合う地域ネットワークの構築

【助成金額】上限1300万円/年

【応募対象】※平成21年度まほろば・けいはんな科学ネットワークが採択中のため、同事業の支援地域を除いた範囲での申請可※募集説明会開催(大阪3/25申込不要)

【問い合わせ】<http://www.jst.go.jp/>

(財) 日本食生活文化財団 食生活文化に関する調査研究論文公募

【公募時期】平成22年4月15日(期間内必着)

【助成対象】食生活文化に関する調査研究で、未発表のもの

【助成金額】20~30万円

(株) 山田養蜂場本社 みつばち健康科学研究所 2010年度みつばち研究助成基金

【公募時期】平成22年4月30日 17:00(期間内必着)

【助成対象】みつばち産品を始めとする有用天然素材に関連し、これまで報告されていない創造的な研究テーマ

【助成金額】50万円~/1テーマ

【応募対象】45歳以下(2010/4/1現在)の若手研究者ならびに養蜂研究者
学生応募可(研究代表者として研究実施体制がとれること)

【問い合わせ】<http://www.bee-lab.jp/>

(公) 富士フィルム・グリーンファンド 2010年度FGF助成公募

【公募時期】平成22年5月17日(消印有効)

【助成対象】自然環境保全のための活動・調査研究 A:活動助成、B:研究助成

【助成金額】総額850万円

【問い合わせ】<http://www.jwrc.or.jp/>

6. 奈良女子大学メールマガジン

現在、総務企画課のご協力のもと社会連携センター名で出ております「奈良女子大学メールマガジン」は、この4月2日(金)配信で230号を数えます。人気の「季節の写真便りコーナー」や「大学探検隊コーナー」でご紹介した写真は6975枚。現在の読者数は約735名です。

広報的な記事や写真がございましたら、
e-magazine@cc.nara-wu.ac.jp 宛てにお知らせください。

また、e-magazine@cc.nara-wu.ac.jp 宛てにメールタイトルを「登録」として空メールを送信していただくと、登録させていただきます。研究室の学生さんなどにもご紹介してください。

7. お勧めグッズいろいろ



↑全学仕様の紙ファイル。



↑研究紹介集
2009-2010



↑手提げ紙袋(学生からも
お洒落と好評です)



↑テーブルクロス



↑のぼり(両面仕様)



↑大学メールマガジン
で紹介した写真が満載
のPHOTO MESSAGE
(カラーです)